

フランス中世の文学 (その2)

講師：原野 昇（広島大学名誉教授）

全6回、定員 30 名、受講料：12,000 円

10月19日、11月2日、11月16日、12月7日、1月8日（水曜）13:30～15:00

※ご希望の講座だけ受講することもできます。1回 2,500 円

★講座の趣旨

文学作品を例に取り上げながら、フランス中世の社会をみていきます。文学作品の創造と鑑賞という人間の行為の、時代や地域を越えた普遍性と、フランスの中世という特徴、個別性をみていき、現代の日本に生きるわれわれも含めた人間の文学創造、芸術活動を考えていきます。フランス語の知識は必要ではありません。

★講座の内容

- 10月19日 『ばら物語』—アレゴリー、夢物語、繰り返される境界越え語る「私」と恋する「私」
- 11月2日 『ポンチュール伯の息女』—芥川『藪の中』（羅生門）との比較
主要登場人物の行動とその心理—排除と寛容の多様性
- 11月16日 中世の笑話—中世社会の変容、町人の台頭、本音と建前
槍玉にあがる聖職者、女性蔑視
- 12月7日 『狐物語』—中世のトリックスター悪狐ルナール
イソップその他の源泉、動物寓話、動物説話、動物叙事詩
- 2017年
- 1月18日 「写本と羊皮紙」—羊皮紙のできるまで、写本製作、修道院
羊皮紙の実物提示、インク、ペン
- 2月1日 「まとめ」—写本と校訂本、第1～5講の補足説明と質疑応答

★講師紹介：原野 昇（はらの のぼる）



1943 年生まれ。広島大学大学院文学研究科博士課程中退、文学博士（パリ大学）。広島大学名誉教授。著書：『狐物語』（岩波文庫、共訳）、『芸術のトポス』（岩波書店、共著）、『フランス中世文学を学ぶ人のために』（世界思想社、編著）、『フランス中世文学名作選』（白水社、共編訳）他。

原野昇のホームページ：<http://home.hiroshima-u.ac.jp/nharano/>

※ 受講をご希望の方は、講座名、①お名前、②年齢、③連絡先住所をご記入の上、E-Mail もしくは FAX にてお申込みください。

コミュニティ・アカデミー上幟

広島市中区上幟町 10-15-201 畠田ビル 2F

TEL & FAX： 082-225-8103

E-Mail： c.a.kaminobori@outlook.jp

ホームページ：<http://manabi-kaminobori.com/>

